

## 第二回「石川台中学校 学校改築懇談会」を開催しました

令和5年8月1日に、第二回学校改築懇談会が石川台中学校にて行われました。6月末から8月にかけて実施したアンケート結果（生徒・教職員・保護者の皆様）のご報告、これを受けた改築に当たってのコンセプト案の作成、体育館の整備方針に関することが議題となりました。

実施日時：令和5年8月1日（火）  
18時30分から19時30分  
場 所：石川台中学校 視聴覚室

### 次第

- ①開会挨拶（教育施設担当課長）
- ②アンケート結果の報告
- ③コンセプト案の作成について
- ④体育館の整備について
- ⑤第1回学校改築懇談会の開催報告について
- ⑥質疑応答
- ⑦閉会の挨拶（学校長）

### アンケート結果の報告（一部抜粋）

6月末から8月にかけて実施したアンケート結果（生徒・教職員・保護者の皆様）の報告を行いました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

アンケートから得られた結果の概要について、一部抜粋してお知らせいたします。

Q：改築されるにあたり、新校舎に特に期待するものは何ですか？

- ・快適で温かみがあり、子どもたちの居場所となれる居心地がよい学校
- ・防犯や事故防止に配慮された学校
- ・ICT（デジタル技術）を活用した教育ができる最先端の学校
- ・生徒と先生との距離が近く、他の学年との幅広い交流も促される学校 等

Q：石川台中のどんなところを新しい学校に継承していきたいですか？

- ・充実した生徒と先生方のコミュニケーション、学年を超えた縦の繋がりやアットホーム感
- ・豊かな自然 ・開かれた授業公開 ・ボランティア活動など地域行事への参加 等

Q：学校図書館があるとよいと思うものは何ですか？

- ・上履きを脱いでくつろぎながら読書ができるコーナー ・展示、発表コーナー
- ・落ち着いて自習できるコーナー ・友達や先生と交流できる談話コーナー
- ・パソコンによる書籍の検索システムや貸し出し予約システム

他、自由記述より

- ・特別支援学級を1階に設置してほしい ・地域の風景と統一感のある建物としてほしい
- ・プレゼンテーションや発表など、交流を目的とした場所づくりをしてほしい
- ・様々な特性や障がいを持つ子がいる中、地域の全ての子どもを受け入れられる施設としてほしい
- ・改築に伴う学校運営への影響を最小限にしてほしい、特に運動場について配慮してほしい
- ・全てのトイレを洋式化し、生徒用ロッカーを大きくしてほしい 等のご意見をいただきました。



## ・コンセプト案の作成について

石川台中学校の特徴、教育目標やアンケートで頂いたご意見等をもとに、コンセプト案を作成するためのキーワードを抽出しました。第3回以降に委員の皆様や学校と協議の上、コンセプトを決定します。

<石川台中学校の特徴>（学校要覧より抜粋）

- ・小規模校のよさを活かした学習や異学年交流
- ・「読解力を向上させる指導の工夫」への取り組み
- ・三大行事と四大ボランティア
- ・スクールサポート石川台などの活動

<石川台中学校の教育目標>

- 「思考力に富む生徒」
- 「実行力のある生徒」
- 「情操の豊かな生徒」

<未来の石川台中学校に求められているもの>（アンケート結果より）

- ・落ち着いた学習できる環境
- ・最先端の教育ができる環境
- ・学年分け隔てなく交流できる場所
- ・防犯や事故防止への配慮
- ・自然を感じながら過ごせる場所
- ・リラックスして過ごせる場所
- ・衛生的なトイレやプール
- ・十分な広さの校庭や体育館

<区の整備指針>

- ・学校や地域の特色を活かし、地域とともにある学校づくりを目指す
- ・石川台中学校が培ってきた国語教育の推進をはじめとし、各教科の学習効果を上げるための学校図書館機能や、ICT活用による教育環境の充実に力を入れる

キーワード例：「思考力」「ことばの力」「学習指導のきめ細かさ」「ICT」「異学年交流」「あたたかい繋がり」「アットホーム」「奉仕の心」「彩り豊かな自然」「安心安全」「防災」 など

## ・体育館の整備について

既存体育館は昭和40年代の新築後、平成25年から26年にかけて内外装の改修を行っています。

今回の改築に当たっては、①構造躯体は昭和46年築であること、②水害時の緊急避難場所として使用できないこと、③体育館を残すと新校舎の配置に制限がかかり、全体工期の長期化が懸念されることから、校舎だけでなく、体育館も含めた全体改築とすることとします。

## ・主な質疑応答、ご意見

Q：改築後も今と同規模とするのか、または生徒数が増加する可能性を見越して改築を行うかどちらなのか。

A：大田区は学区域制であり、学区域内に住む生徒は原則通うことができる規模として整備する。学級数に関して、現状は今と変わらず2学級もしくは3学級になると考えられる。

Q：現在と同規模の学校とするなら、オープンスクール型とすることはどうか。

A：現在、区で行っている学校改築では、基本的にオープンスクール型としている。教室内と廊下を仕切って使用したいときは、間仕切りで閉めることが可能な造りになっている。

Q：学校改築は、子どもたちが安全に学校に来やすく、学びやすい環境作りのためと考えているが、コンセプト案の作成において学校の特徴を見つけることに繋がりはあるのか。

A：改築の初期段階で石川台中学校らしいコンセプトを作り、皆で同じ方向を目指して学校づくりを行うことが新しい学校づくりには大切だと考えている。

委員意見：大規模校でないからこそ他学年とのつながりや、手厚い指導による特別支援学級・サポートルームの充実が特徴である。

委員意見：多様性や子どもたちがお互いを認め合う部分は、石川台中の特色であると思う。

ご不明な点やご意見については、下記担当までご連絡ください。

問合せ先：大田区教育委員会事務局 教育総務課 施設担当 TEL 03-5744-1399 mail: t-kyouiku@city.ota.tokyo.jp